

身体障害者診断書・意見書（呼吸器 機能障害用）

氏名	年 月 日生()歳	男・女
住所		
1 障害名（部位も明記）		
2 原因となった 疾病・外傷名	交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、 自然災害、疾病、先天性、その他()	
3 疾病・外傷発生年月日	年 月 日	・場所
4 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）		
障害固定又は障害確定（推定） 年 月 日		
5 総合所見		
6 将来再認定（障害程度の変化の見込み）	要（時期	年 月）・不要
7 その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。 令和 年 月 日 病院又は診療所の名称 所在地 診療担当科名 科 医師氏名		
身体障害者福祉法第15条第3項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入すること。〕 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・該当する。（ 級相当） ・該当しない。		

(注)

- 1 障害名欄には現在起っている障害（両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等）を記入してください。
- 2 原因となった疾病・外傷名欄には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。
- 3 障害区分や等級決定のため、静岡市健康福祉審議会から改めて別紙1から別紙13までについて、問い合わせする場合があります。

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○で囲むこと。)

1 身体計測

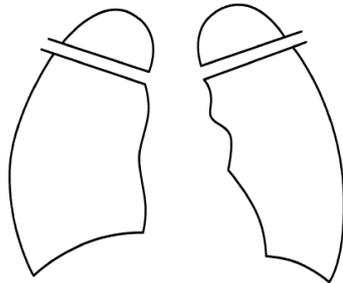
身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

- (1) 激しい運動をした時だけ息切れがある。
 (2) 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。
 (3) 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることもある。
 (4) 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。
 (5) 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

- (1) 胸膜癒着 (無・軽度・中等度・高度)
 (2) 気腫化 (無・軽度・中等度・高度)
 (3) 線維化 (無・軽度・中等度・高度)
 (4) 不透明肺 (無・軽度・中等度・高度)
 (5) 胸郭変形 (無・軽度・中等度・高度)
 (6) 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)



4 換気機能 (年 月 日)

- (1) 予測肺活量 □. □□ L (実測肺活量 □. □□ L)
 (2) 1秒量 □. □□ L (実測努力肺活量 □. □□ L)
 (3) 予測肺活量1秒率 □□. □ % $\left[= \frac{(2)}{(1)} \times 100 \right]$

((1)については、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢(歳)} - 2.258$ 女性 $0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢(歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

